

# mecA遺伝子検査の中止のご案内

誠に勝手ながら、mecA遺伝子検査(G0027-1)、ブドウ球菌鑑別検査(G0027-2)および薬剤感受性試験(G0027-3)の受託を中止いたします。本案内において中止理由をご説明させていただきます。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

## 1. mecA遺伝子検査(G0027-1)中止理由

mecA遺伝子はメチシリン耐性ブドウ球菌が保有する遺伝子であるため、この遺伝子を検出することでメチシリン耐性菌であるのか否かを客観的に判定できる検査でした。しかし、薬剤感受性試験により代替できることが判明したため(下表参照)中止することとなりました。

### 【mecA遺伝子検査と 薬剤感受性試験による メチシリン耐性菌の判定の比較】

		遺伝子検査	
		mecA (+)	mecA (-)
薬剤感受性試験	MRS (+)	<b>33.7 % (29/86)</b>	2.3% (2/86)
	MRS (-)	8.1% (7/86)	<b>55.8% (48/86)</b>

MRS: メチシリン耐性ブドウ球菌、括弧内は菌株数、  
+:陽性、-:検出されず

### 1) 方法

臨床例から分離されたブドウ球菌86株を用い、mecA遺伝子検査と薬剤感受性試験の結果を比較しました。遺伝子検査ではmecA遺伝子の有無をPCR法により明らかにし、薬剤感受性試験では感受性の基準からメチシリン耐性菌(MRS)であるのか否かを判定しました。

### 2) 結果

両検査により結果が異なった割合は、10.4%【mecA(+)MRS(-)が8.1%、mecA(-)MRS(+)が2.3%】であり、89.5%【mecA(+)MRS(+)が33.7%、mecA(-)MRS(-)が55.8%】の検体では両検査の結果が一致しました。

### 3) 結論

mecA遺伝子検査を行わなくても90前後の株では、メチシリン耐性菌であるのか否かを正確に判定できることが示唆されました。

## 2. ブドウ球菌鑑別検査(G0027-2)中止理由

本検査が開発された当初は、犬の膿皮症から分離されることが多い*S. pseudintermedius*と*S. aureus*(黄色ブドウ球菌)を菌の性状検査から鑑別することが困難でした。しかし、現在では性状検査により両者を厳密に区別できるようになり(*S. pseudintermedius*は、*S. intermedius* GROUPと鑑別される)、臨床的に遺伝子検査による鑑別の必要性が薄れてきたため、中止することとなりました。

## 3. 薬剤感受性試験(G0027-3)中止理由

薬剤感受性試験は弊社からLSIメディエンス(旧三菱化学メディエンス)へ外注しておりました。mecA遺伝子検査を中止することになり、弊社が仲介する意義がなくなったため中止いたします。今後はLSIメディエンスに直接ご依頼ください。

株式会社 ケーナインラボ  
検査センター

〒110-0005

東京都台東区上野3丁目5-2 S-1ビル

電話: 03-5817-8130

FAX: 03-5817-8135

HP: [www.canine-lab.jp](http://www.canine-lab.jp) E-mail: [kensa@canine-lab.jp](mailto:kensa@canine-lab.jp)



検体集荷

株式会社 モノリス

〒182-0012

東京都調布市深大寺東町8-31-6

電話: 042-443-7200(代表)

042-443-6181/6183(集荷)

FAX: 042-443-6182